

期 間 入 札 の 公 告

令和 7年10月27日

東京地方裁判所立川支部民事第4部

裁判所書記官 小林 裕 子

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7年11月12日 午前 9時00分から 令和 7年11月19日 午後 5時00分まで
開札期日	日 時 令和 7年11月25日 午前10時00分 場 所 東京地方裁判所立川支部売却場
売却決定 期日	日 時 令和 7年12月10日 午前11時00分 場 所 東京地方裁判所立川支部民事第4部
特別売却 実施期間	令和 7年11月26日 午前10時00分から 令和 7年11月28日 午後 5時00分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書 (2) 銀行または損害保険会社の支払保証委託契約締結証明書
買受申出の資格の 制限(民事執行規則33条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7年10月27日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和7年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	10,160,000 8,128,000	一括	2,032,000	32,512	8,541
1	2,760,000				
2	7,400,000				
				</	



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|----------------------------------|
| 1 | 所 在 | 小平市小川町一丁目 |
| | 地 番 | 833番11 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 66.84平方メートル |
| 2 | 所 在 | 小平市小川町一丁目833番地11 |
| | 家屋 番号 | 833番11の2 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレート葺2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 34.36平方メートル
2階 33.12平方メートル |



物 件 明 細 書

令和 7年 9月 8日

東京地方裁判所立川支部民事第4部

裁判所書記官 蘆 澤 里英子

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります。）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。このほか、BITシステムの「お知らせ」メニュー内の各裁判所にある「競売ファイル・競売手続説明書」にも登載されています。



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|----------------------------------|
| 1 | 所 在 | 小平市小川町一丁目 |
| | 地 番 | 833番11 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 66.84平方メートル |
| 2 | 所 在 | 小平市小川町一丁目833番地11 |
| | 家屋 番号 | 833番11の2 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレート葺2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 34.36平方メートル
2階 33.12平方メートル |



令和7年（ケ）第110号
令和7年 7月11日受理
令和 7年 8月13日提出
（評価人 大和田 公 一）

現 況 調 査 報 告 書

東京地方裁判所立川支部
執行官 塚 田

正

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 小平市小川町一丁目 |
| | 地 番 | 8 3 3 番 1 1 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 6 6 . 8 4 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 小平市小川町一丁目 8 3 3 番地 1 1 |
| | 家屋 番号 | 8 3 3 番 1 1 の 2 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレート葺2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 3 4 . 3 6 平方メートル
2階 3 3 . 1 2 平方メートル |



不動産の表示	「物件目録」のとおり		
住居表示	東京都小平市小川町一丁目833番地の11（住居表示未実施）		
土地	物件1		
現況地目	☒ 宅地（物件1） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☐ （物件 ）		
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐		
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の建物（目的外建物）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）		
その他の事項	カーポートが存在する		
建物	物件2		
種類・構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点が異なる（ ☐ 主たる建物 ☐ 附属建物） ☐ 種類： ☐ 構造： ☐ 床面積：		
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある — ☐ 種類： ☐ 構造： ☐ 床面積：		
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を 居宅（空家） として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の敷地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）		
その他の事項			
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある [地方裁判所 支部 令和 年（ ）第 号 保管開始日 令和 年 月 日		
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

(2 枚目)

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
A (建物所有者)	1 本件建物は空家です。 2 本件建物内で不具合な部分や増改築した部分はありませんが、床の緩んでいる部分があります。 (令和7年8月8日面接聴取)

執行官の意見

- 1 本件各物件の状況は、土地建物位置関係図、建物間取図及び添付写真のとおりである。
- 2 郵便受けは投函口がテープで閉鎖され、表札には A の姓が表示されていた。
- 3 立入調査を実施したところ、A が在室し、関係人の陳述に記載のとおり述べ、室内には日常使用される動産は存在しなかった。2階洗面室の床が緩んでいた。
- 4 本件建物の占有状況については、上記資料及び現場の状況から、前記のとおり認定した。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(4 枚目)

調 査 の 経 過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和7年7月14日 ： ：	東京法務局立川出張所	登記事項証明書等交付申請 地図などの写し交付申請
令和7年7月14日 18:00-18:10	物件所在地	物件確認、外観写真撮影、物件調査、占有調査、写真撮影
令和7年7月28日 ： ：	当 庁	照会書送付（建物所有者）
令和7年8月8日 11:10-11:23	物件所在地	物件確認、物件調査、占有調査、写真撮影、図面作成、評価人同行、建物所有者に面接聴取
令和 年 月 日 ： ：		
令和 年 月 日 ： ：		
令和 年 月 日 ： ：		
令和 年 月 日 ： ：		

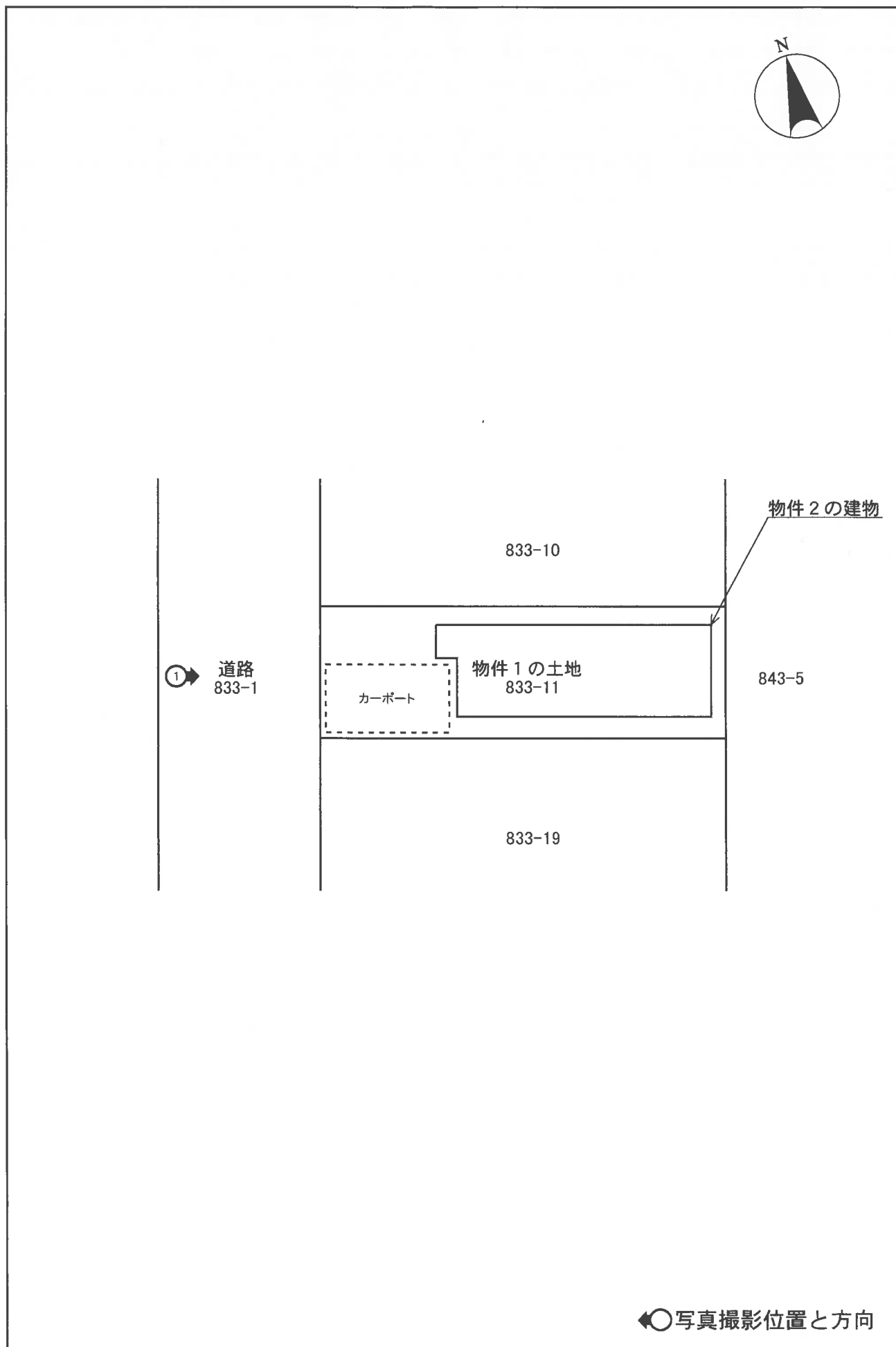
(特記事項)

☒ 令和7年8月8日
目的物件が施錠されている場合に備えて、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。

☐ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち合わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。

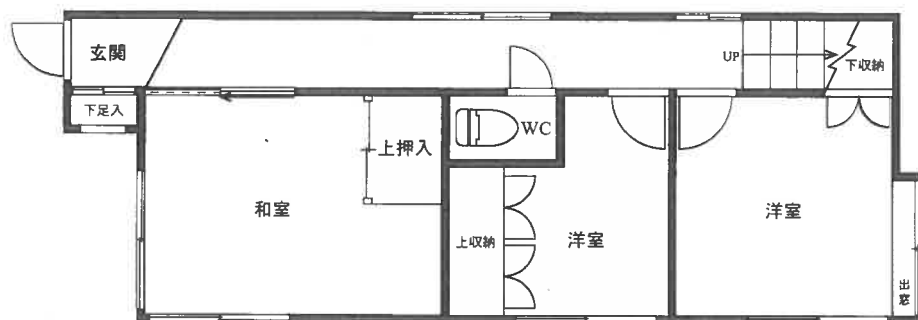
☐ 令和 年 月 日
休日・夜間執行許可の提示をした。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(5 枚目)

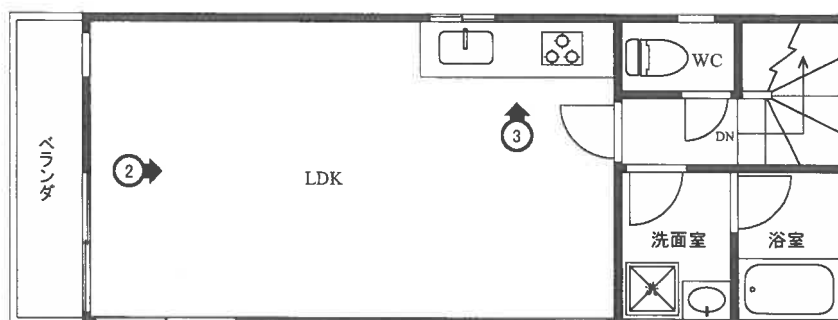




1階



2階



◀○写真撮影位置と方向

001



002



003



令和7年（ケ）第110号
令和7年8月8日現地調査
令和7年8月28日評価

東京地方裁判所立川支部
民事第4部不動産執行係 御中

評 価 書

評価人 大和田 公一

第1 評価額

一 括 価 格	
金 10,160,000円	
内 訳 価 格	
物件1（土地）	金 2,760,000円
物件2（建物）	金 7,400,000円

- 1 一括価格は、物件1及び2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の合計価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所 在 等	登 記	現 況
1	次頁物件目録記載のとおり		同 左
2	次頁物件目録記載のとおり		同 左
番号	特 記 事 項		
	特になし		

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|----------------------------------|
| 1 | 所 在 | 小平市小川町一丁目 |
| | 地 番 | 833番11 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 66.84平方メートル |
| 2 | 所 在 | 小平市小川町一丁目833番地11 |
| | 家屋 番号 | 833番11の2 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレート葺2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 34.36平方メートル
2階 33.12平方メートル |



22

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位 置 ・ 交 通	西武国分寺線「鷹の台」駅の北西方約1.4km（道路距離）、徒歩約18分に位置する（附属資料「位置図」参照）。	
付 近 の 状 況	市立小平第五中学校の東側に位置し、戸建住宅、アパート等が建ち並ぶ住宅地域である。近隣には大学や学校、その関連施設が見られるほか、一部には農地等も残る。 中学校、病院、コンビニエンスストアは徒歩10分以内、小学校、郵便局、図書館、スーパーストア等の便益施設は徒歩15分前後に存する。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等の 個別的な規制を考 慮しない一般的な 規制)	都市計画区分 用 途 地 域 建 蔽 率 容 積 率 防 火 規 制 その他の規制	市街化区域 第1種中高層住居専用地域 40% 100% 準防火地域 25m第1種高度地区、日影規制（一） 宅地造成等工事規制区域、航空法 東京都景観条例（一般地域） 都市計画道路小平3・4・22号線（国分寺東村山線）※
	※ 物件1土地の前面道路は、上記都市計画道路による拡幅計画がある（計画幅員16m、現在は計画決定のみ）。小平市都市計画課に備付けの「都市計画道路基本計画図」によると、物件1土地の対面側が拡幅される予定で、物件1土地側は、物件1土地の西側境界線上に計画線が存するが、都市計画課によると、正確な計画線の位置は、事業化に際し測量が行われなければ分からないとのことである。	
画 地 の 状 況	地 積 形 状 間 口 ・ 奥 行 地 勢 そ の 他	66.84㎡（登記地積） ※地積測量図が存する。 ほぼ長方形 間口約4.7m・奥行約14.4m ほぼ平坦 敷地の南西側に駐車スペースがあり、カーポートが設置されている。但しスペースが狭いため、車種は限定される。
接面道路の状況等	西側で幅員約8.5mの舗装市道（建築基準法第42条1項1号）とほぼ等高に接面する中間画地である。当該市道は、物件1土地の南方約70mで行止まりとなっている。	
土 地 の 利 用 状 況 等	- 物件1土地は、物件2建物の敷地として利用されている。 - 建物の配置は、附属資料「建物図面・各階平面図写」のとおり。	

供給処理施設 (基本的には敷地内への引き込みの有無を基準としている)	上水道 都市ガス 下水道	あり あり あり
土地の履歴等	国土地理院の過去の航空写真によると、昭和36年頃の物件1土地は農地と見受けられ、昭和49年には物件1土地上に建物が存している。また、過去の住宅地図によると、昭和55年版、昭和63年版、平成5年版のいずれの年代も、物件1土地には、従前の住宅と推察される建物の記載がある。 閉鎖登記簿等による地歴調査では、過去に土壤汚染が疑われる所有者等の端緒はみられない。	
特記事項	① 北側隣接地の植栽が、物件1土地側にやや越境している。 ② 「小平市ハザードマップ・浸水予想区域図」によると、物件1土地は浸水想定区域には指定されていない。浸水履歴についても、小平市に記録が残る平成16年以降、同市への浸水報告の記録はない。	

2 建物の概況及び利用状況（物件2）

区 分	主である建物		
建 築 時 期 及 び 経 済 的 残 存 耐 用 年 数	建築年月日(登記記載) 経 過 年 数 経済的残存耐用年数	平成7年8月13日新築 約30年 約3年	
仕 様	構 造 屋 根 外 壁 内 壁 天 井 床 設 備 そ の 他	木造2階建 スレート葺 サイディング等 クロス貼り等 クロス貼り、合板等 フローリング、畳等 台所、浴室、洗面台、トイレ(2)等 ※設備の動作確認は行っていない。 ・ 1 階東側洋室の一部は階段の下に位置するため、天井高が低い部分がある。また、2 階のリビングダイニングは、天井の一部が勾配天井である。 ・ 2 階の西側にベランダがある。	
床面積（現況）	1 階 2 階 延べ	34.36 m ² 33.12 m ² 67.48 m ²	
現 況 用 途 等	現 況 用 途 間 取 り	居宅 3LDK 〔1階〕洋室(2)、和室(1)、トイレ等 〔2階〕LDK、洗面室、浴室、トイレ等	
品 等	中位の下		
保守管理の状況	やや劣る		
建物の利用状況	・ 建物所有者が本建物を居宅（空家）として使用している。 ・ 占有減価等の要因はない。		

特 記 事 項	① 物件2建物は、確認済証の交付記録はあるが、現況の床面積は建築確認申請における建築面積、延べ面積より大きく、法令上認められる建蔽率・容積率を上回っている。検査済証の交付記録はなく、建物の遵法性が確認できないほか、再建築に際しては同規模の建物は建築できないため留意を要する。なお、カーポートについては建築確認等の記録はない。 ② 建物外部は、屋根の色褪せ、外壁の汚れや塗装の剥離等が認められ、経年に伴う老朽化、劣化が認められた。 ③ 室内は、経年に伴う内装や設備の劣化・陳腐化、日常使用における内装の汚れや傷等が認められた。建物所有者の陳述によると、建物の不具合、雨漏りは特にないとのことであるが、洗面室の床に緩みが認められた。建物所有者によると、過去に洗面室において漏水し、1階東側の洋室まで水が漏れ出たことがあるとのことで、洗面室の床以外にも、階段や1階洋室のドア下部にふやけた跡が認められた。 ④ 建物の建築年からすると、建材にアスベストが使用されている可能性を完全に否定することができないが、アスベストについては、専門調査会社等による調査を行わなければ詳細が分からないため留意を要する。
---------	---

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 物件1（土地）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

物件 番号	更地価格		地 積 ウ	建付 減価 エ	建付地価格 オ
	標準画地価格 ア	個別格差 イ			
1	201,000円/㎡	× 0.95	× 66.84㎡	× 0.90	= 11,490,000円

※総額(円)については、1万円未満四捨五入とした。(以下同じ)

ア 標準画地価格 : 下記の規準価格を中心に、その他の価格資料等を斟酌して地域の標準画地の価格を求めた。なお、標準画地は、近隣において、土地の概況(間口、奥行、規模等)及び利用状況等が標準的な中間画地を想定した。

【 公示地 (小平-31) 】

$$\begin{array}{ccccccc}
 \text{公示価格} & & \text{(時点修正)} & \text{(標準化補正)} & \text{(地域格差)} & & \text{(規準価格)} \\
 195,000\text{円}/\text{m}^2 & \times & \frac{102}{100} & \times \frac{100}{102} & \times \frac{100}{97} & = & 201,000\text{円}/\text{m}^2 \\
 & & & & & & \text{(上三桁未満四捨五入)}
 \end{array}$$

時 点 修 正 : 令和7年1月1日から評価日までの推定変動率である。

標 準 化 補 正 : 方位(西) +2% 公示地の標準化補正を考慮(北方位を標準)。

地 域 格 差 : 公示地の所在地域と対象不動産の所在地域を比較して、交通接近条件・街路条件・環境条件・行政的条件等を総合的に考量して判定した。

イ 個 別 格 差 : 下記の個別的要因を考慮して個別格差率を査定した。

- ・道路方位(西) +2%
- ・行止まり道路 -2%
- ・間口と奥行きの関係 -5%

$$\text{相乗積} (1.02 \times 0.98 \times 0.95 \doteq 0.95)$$

$$\underline{\underline{\text{個別格差} : 0.95}}$$

ウ 地 積 : 登記数量による。

エ 建 付 減 価 : 敷地と建物の適応状態を考慮した結果、-10%と判定した。

② 物件2（建物）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

物件 番号	再調達原価 ア	現況延床面積 イ	現価率 ウ	建物価格 エ
2	180,000円/㎡	× 67.48㎡	× 0.10	= 1,210,000円

ア 再調達原価：対象建物の現状の使用資材、施工の程度等を観察し、その仕様の標準的な原価を採用した。

イ 現況延床面積：登記数量による。

ウ 現 価 率：建物の現況を考慮のうえ、残価率、経済的残存耐用年数を下記のとおり判定し、耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用して、現価率を求めた。

- ・経済的残存耐用年数は、物理的・機能的・経済的観点から建物の現況及び地域的特性の推移・動向等を考慮して査定したもので、税務上の耐用年数とは一致するものではない。
- ・観察減価については、建物の経過年数、建物の状態（老朽化、劣化の程度）、保守管理の状態、遵法性が確認できない中古建物の市場性、観察不能部分の不測の減価等を総合的に比較考量して判定した。

残価率	3%
経過年数	約30年
経済的残存耐用年数	約3年
観察減価率	20%

$$\begin{array}{ccccccc}
 \text{残価率} & & \text{耐用年数に基づく方法} & & \text{観察減価} & & \text{現価率} \\
 0.03 & + & (1 - 0.03) & \times & \frac{3\text{年}}{30\text{年} + 3\text{年}} & \times & (1 - 0.20) \div 0.10 \\
 & & & & & & \text{(小数第3位を四捨五入)}
 \end{array}$$

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を決定した。

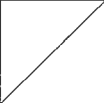
① 土地利用権等価格

物件 番号	建付地価格 ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 ウ
1	11,490,000円	× 0.7	法定地上権	= 8,040,000円

ア 建 付 地 価 格 : 前記1.①.オ

イ 土地利用権等割合 : 売却により法定地上権が成立するものと解される。法定地上権割合は、近隣における借地権の取引慣行、課税上の割合等を参考に、建物の性質等、地上権としての特性等を勘案して判定した。

② 内訳価格及び一括価格

物件 番号	基礎となる価格 ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 イ	占有減 価修正 ウ	市場性 修正 エ	競売市 場修正 オ	評 価 額
1	11,490,000円	－ 8,040,000円		×1.0	×0.8	= 2,760,000円
2	1,210,000円	＋ 8,040,000円	×1.0	×1.0	×0.8	= 7,400,000円
一括価格（合計）						10,160,000円

ア 基礎となる価格 : 前記1

イ 土地利用権等価格 : 上記2.①.ウ

ウ 占有減価修正 : 必要なし

エ 市場性修正 : 必要なし

オ 競売市場修正 : 「第2 評価の条件」欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮して修正を行った。

第6 参考価格資料

[指標とした公示価格等]

【 公示地 (小平-31) 】

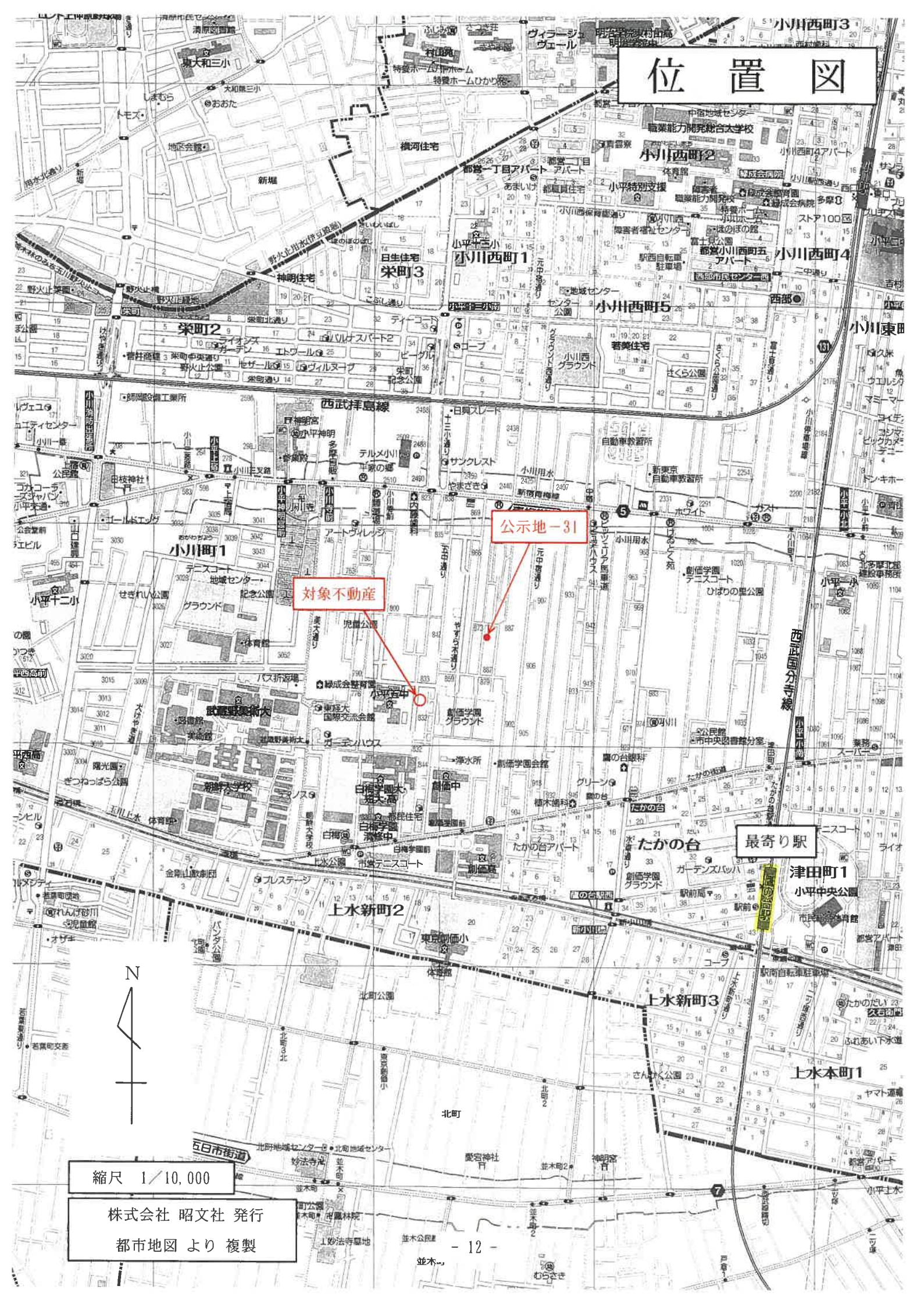
価 格 時 点	令和7年1月1日
所 在 ・ 地 番	小平市小川町1丁目880番3
1 m ² 当たりの 価 格	195,000円/m ²
地 積	158m ²
供 給 処 理 施 設	水道、ガス、下水
前 面 道 路 の 状 況	西4m私道
交通施設との接近状況	「鷹の台」駅 1,300m
法 令 上 の 制 限	第一種低層住居専用地域(40,80)
周辺土地の利用の現況	中規模一般住宅等が建ち並ぶ住宅地域

第7 附属資料

- 1 位置図
- 2 公図写
- 3 地積測量図
- 4 建物図面・各階平面図写

以 上

位置図



対象不動産

公示地-31

最寄り駅

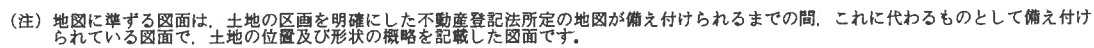
津田町1

縮尺 1/10,000

株式会社 昭文社 発行

都市地図 より 複製

1 847-17
D 847-16



小川町
1丁目

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

A 3 を A 4 に縮小

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和7年7月28日 東京法務局田無出張所

A3をA4に縮小

地積測量図

地番 833-11, -19

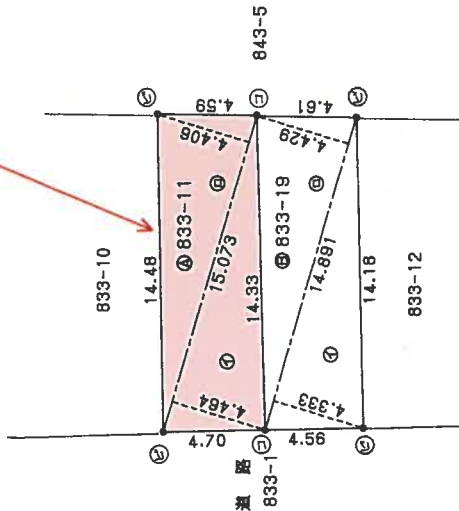
土地の所在 東京都小平市小川町1丁目



(物件1土地)

地番 ⑧833-11			
符号	辺長	高さ	積面積
イ	15.073	4.464	67.285872
ロ	15.073	4.406	66.411638
		積面積	133.697510
		面積	66.8487550
		地積	66.84㎡

物件1土地



地番 ⑨833-19			
符号	辺長	高さ	積面積
イ	14.891	4.333	64.522703
ロ	14.891	4.429	65.952239
		積面積	130.474942
		面積	65.2374710
		地積	65.23㎡

平成七年八月十四日

境界点	境界線の種類
①	コンクリート杭
②	石
③	金
④	土
⑤	鉄
⑥	鉄

1604077

2000000

縮尺 1/250

申請人

作製者
土地家屋調査士

(平成7年7月27日作製)

(東京土地家屋調査士会用紙)

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和7年7月28日 東京法務局田無出張所

A3をA4に縮小

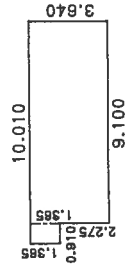
各 階 平 面 図

家屋番号 833 番 11-2

建物の所在 小平市小川町1丁目833番地11

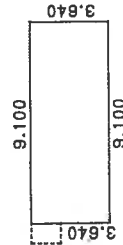
建 物 階 平 面 図

1 階

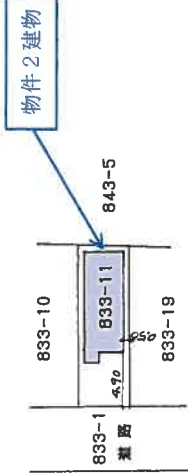


求積表
0.910 x 1.365 = 1.242150
9.100 x 3.640 = 33.124000
合 計
床面積 34.366150
34.36㎡

2 階



求積表
9.100 x 3.640 = 33.124000
床面積 33.12㎡



5605131

作製者
土地調査士
家屋

平成7年8月23日作製

縮尺 1/250

申請人



縮尺 1/500

(東京土地家屋調査士会用紙)

平成7年8月28日